

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

取組の概要

取組の概要 : 実需者ニーズに対応した増産体制構築のための貯蔵能力の増強と各種作業機の導入による適期作業により販売額を増加
計画作成主体 : 豊頃町農業再生協議会
対象品目 : 小麦 (産地面積: 1,450ha)
主な取組主体 : 豊頃町農業協同組合、農業者
成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (10a当たり)
助成金の活用 : 整備事業 (穀類乾燥調製貯蔵施設)
状況 : 生産支援事業 (播種機、防除機等)

ポイント

現在の作付品種「きたほなみ」はうどん用途として実需者からの引き合いが強く、作付面積の拡大・増産と品質確保に向けて、現有作業機的能力不足による作業の遅れと貯蔵能力の不足が課題となっている。
このため、高効率作業機の導入により適期・的確な作業管理による生産工程の適正化を図るとともに、貯蔵サイロの増設により適正な保管体制を整備し、実需ニーズに対応した収量・品質の確保により販売額24%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

現状: H26年度

作付面積: 1,388ha (出荷数量7,642t)
販売額: 22,015円/10a
(製品化率: 88.7%)

目標: H30年度

作付面積: 1,450ha (出荷数量8,315t)
販売額: 27,281円/10a
(製品保管体系の適正化とリース事業による適期作業と生育管理による品質向上により製品化率を94.0%まで向上させる。)



推進体制

地域の関係者 (豊頃町、豊頃町農業協同組合、豊頃町農業委員会、農業共済組合、普及センター、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。



事業効果

小麦の増産に対応した貯蔵能力の増強と高効率機械の導入による生産工程の適正化により収量・品質が向上。

増産要望等実需ニーズに対応した生産が可能となり、販売額の増加による産地強化を実現。

~小麦の販売額~

